ISM研究会のお知らせ

File　Edit　Data　Help

99 ISM 研究会

日時

01 月 16 日

14 時 30 分

場所

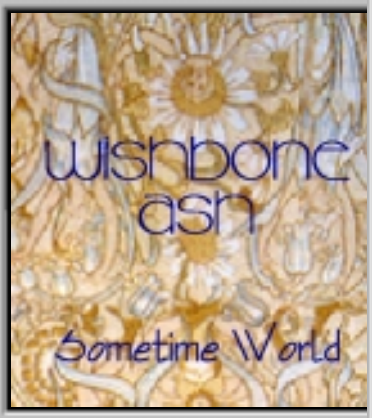
立教大学 5号館

院生控室 教室

テキスト／テーマ

「自由貿易問題についての演説」

編者／著者	出版社	範囲
マルクス	大月書店(『マルクス＝エンゲルス全集』, 第4巻, 第457～471頁	全部



後半期 第4回／通算 第66回

ご案内－詳細

今回は「自由貿易問題についての演説」を取り挙げることにしました。この論文は時期的には『共産党宣言』と同じ頃に書かれたものであり，内容的には，鋭く対立し合う二つの主張――穀物法擁護（保護貿易主義）と穀物法撤廃（自由貿易主義）――を両刀批判しています。

この論文の検討を通して，グローバリゼーションの時代に対してどのような態度をとるべきなのかということを探っていきたいと思っています。

報告者

人名	割当
窪西 保人・	総て

出欠

- (●) 出席
- ( ) 欠席

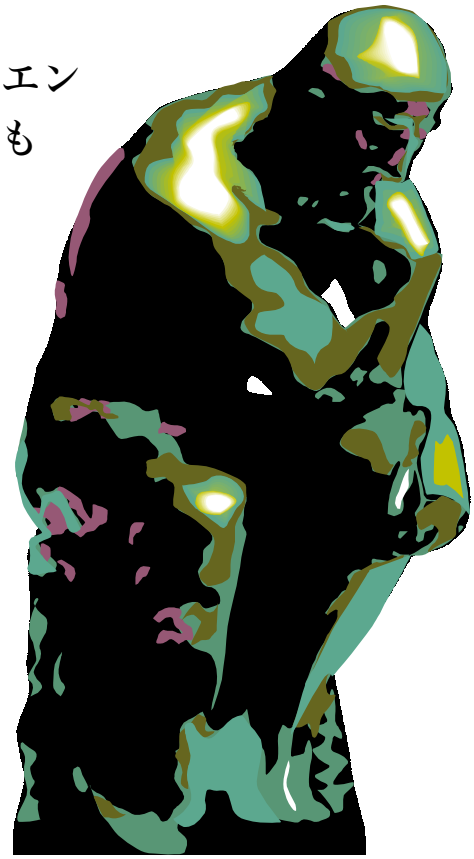
OK　Cancel　Replace

取り敢えずマルクスの論文を検討しようということで,「自由貿易問題についての演説」を取り挙げることにしました。この論文は時期的には『共産党宣言』と同じ頃に書かれたものであり，内容的には，鋭く対立し合う二つの主張――穀物法擁護（保護貿易主義）と穀物法撤廃（自由貿易主義）――を両刀批判しています。

現代がグローバリゼーションの時代であるということに，異論がある人はいないでしょう。左右のどちらの立場に立っても，このグローバリゼーションの傾向に対して，単に拒絶する態度と単に迎合する態度とがあります。極言すると，今日の政策対立は，結局のところ，この一点に集約されるとさえ言えるでしょう。実践的には，この論文の検討を通して，資本の文明化作用に対してどういう態度をとるのか，ブルジョアイデオロギーに対してどういう態度をとるのか，反動イデオロギーに対してどういう態度をとるのか――そういうことを探っていきたいと思っています。

なお，この論文は，以前にこの研究会で読んだ『経済学的ロマン主義の特徴づけによせて』（大月文庫 143）と大いに関連しています（レーニン全集では第２巻に所収）。レーニンがこの論文のどこを生かし，どこを切り捨ててしまったのかということも探っていきたいと思っています。

恐らく大きな図書館などには『マルクス＝エンゲルス全集』は必ずあると思います。ですが，もしこの論文を入手することができない方がいらっしゃるならば，早めに今井のところまでお申し付けください。至急，コピーを郵送いたします。



「自由貿易問題についての演説」は今回で終わる予定です。ISM 研究会では，今後読んでいくテキストを募集しています。面白そうな本があれば，ご紹介ください。また，個人報告も歓迎します。何か報告したいテーマをお持ちの方は，お申し出ください。